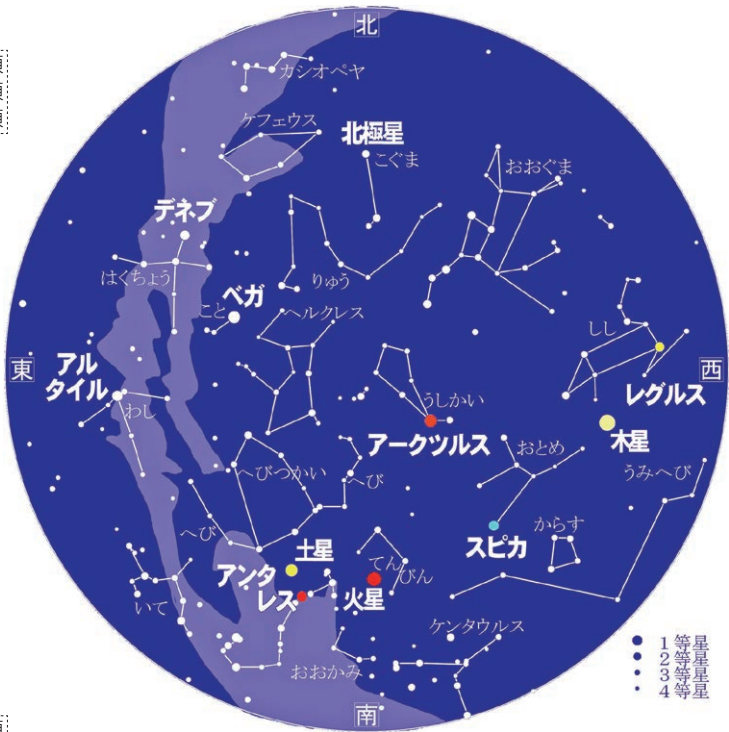


星空ガイド 6月16日～7月15日

よいの星空

6月16日22時頃
7月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

6月16日 4時頃
7月 1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
6	16	木	4:44	19:13	15:18	1:57	11.0
	21	火	4:45	19:14	19:43	5:23	16.0
	26	日	4:46	19:15	23:16	10:15	21.0
7	1	金	4:48	19:15	1:56	15:42	26.0
	6	水	4:50	19:14	6:33	20:28	1.7
	11	月	4:53	19:13	11:22	23:26	6.7
	15	金	4:56	19:11	14:57	1:07	10.7

※惑星は2016年7月1日の位置です。

火星が接近中

5月31日に最接近となった火星が、6月になってもマイナス1等級程度と、とても明るく輝いています。

夜9時頃、南の空でひときわ明るく輝く赤い星が火星です。近くにはもう一つ赤い星である、さそり座のアンタレスが見えており、土星も明るく輝いています。さらに、6月17日と7月15日には火星のすぐ近くに月がやってきて、大変にぎやかになります。



6月17日21時の星空
(ステラナビゲーターにて作成)

半夏生

季節の移り変わりを表す言葉として、夏至や小暑のように二十四節気と呼ばれているもののほかに、雑節(ざっせつ)と呼ばれるものがあります。節分や彼岸、八十八夜などがその例で、国立天文台が発表する暦要綱の中にも、二十四節気とともに記載されています。

夏至から数えて11日目(正確には太陽黄経が100度を通過する日)を半夏生(はんげしょう)といい、これも雑節の一つです。今年は、7月1日が半夏生の日です。農家ではこの日までに田植えを終えるものとされています。



ハンゲショウの草

また、ハンゲショウという名前の草があります。ちょうどこの時期に葉が半分白くなるので、半化粧から由来して名付けられたとも言われています。

【こよみと天文現象】

月	日	曜	主な天文現象など
6	17	金	月と火星がならぶ
	19	日	月と土星がならぶ
	20	月	○満月(20時)
	21	火	夏至
	26	日	月と海王星が明け方に接近
	28	火	●下弦(3時)
7	1	金	月が最近(365983km)/半夏生
	2	土	アルデバランの食(14:06潜入～15:06出現)

月	日	曜	主な天文現象など
7	4	月	●新月(20時)
	5	火	地球が遠日点通過(1.5210億km)
	7	木	小暑/水星が外合
	8	金	冥王星が衝
	9	土	月と木星が接近
	12	火	●上弦(10時)/月とスピカがならぶ
	13	水	月が最遠(404269km)/天王星が西矩
	15	金	月と火星がならぶ

江越 航(天文担当学芸員)